

県建築士会、県建築協会が合同見学会

自然との融合性学ぶ

県建築士会(守真和弘会長)、県建築協会(上山一吉会長)は13日、鹿児島市上福元町のゆかり保育園(社会福祉法人ゆかり、水流洋理事長)で合同の建築現場見学会を開いた。当日は、各協



設計におけるポイントの説明を受ける参加者。鹿児島市上福元町のゆかり保育園で

県建設業青年部会種子島支部

社会貢献の一環 献血に協力

が13日、西之表市の保健センターで恒例の「集団献血」を実施、今回も会員ら24人が冬の血液不足解消に協力した。同献血は、社会貢献活動の一環として平成14年から毎年3月と8月の年2回実施しているもので、県赤十字血液センターから感謝状を受けるなど恒例の行事として定着している。



積極的に献血に協力する会員
＝西之表市の保健センターで

裕成興業旗争奪少年サッカー大会

鹿児島ドラゴンFCがV



雨の中、熱戦を繰り広げた大会＝鹿児島市の郡山総合運動公園で

この融合性、小さな子供たちが何を考え、見て育っていくのか、設計におけるポイントの説明を受けながら施設内を

見て回った。竹原代表は、「コンクリートの冷たさと木の暖かさを感じることで建物を持つ本来の良さを伝

(株)裕成興業(佐藤裕利社長)主催の第12回冬季裕成興業旗争奪少年サッカー大会が10、11の両日、鹿児島市の郡山総合運動公園で開かれた。種子島など県内各地から24チームが参加して熱戦を繰り広

げた結果、鹿児島ドラゴンFCが見事優勝に輝いた。開会式では、昨年の優勝チームから優勝旗が返還された後、佐藤社長が「卒業を控えた6年生にとつては最後の大会にな

るので、今まで練習してきたことを十分に発揮し、悔いなくプレーをしてください」と挨拶。大会は、4コートに分かれ初日に予選リーグ戦が行われ、2日目は各リーグの1位チームとその他のリーグに分かれ決勝トーナメントを行った。初日は小雨がパラつき肌寒さが感じられたが、選手らは家族の応援を受け、元気いっぱいプレーして

いた。主な成績は次の通り。1位リーグ優勝＝鹿児島ドラゴンFC▽準優勝＝伊敷台サッカー少年団▽3位＝武岡SC▽2位リーグ優勝＝草牟田サッカー

ホールで珍プレー好プレーが続出する中、随所で安定したショットやパスを確実に決めた広瀬さんが、西田能行さん(株)西米設備事務所)の猛追を振り切り、見事優勝を決めた。また、前回の覇者・原田毅さん(株)南防は惜しくも4位となり、連覇は成らなかった。大会後の表彰式では、大原会長が「今後も良き恒例行事として継続していきたい。大会を通じてさらなる親睦を深めながら協会発展のためにともに頑張っていきたい」とと挨拶。その後、各賞の表彰が行われ、大原会長から一人ずつ賞品が手渡された。

県建築士事務所協会ゴルフ大会

熱戦を 広瀬さんが優勝



優勝カップを手に喜びの広瀬さん。日置市の南九州カントリークラブで

県建築士事務所協会(大原達也会長)は8日、日置市の南九州カントリークラブで「第32回親睦ゴルフ大会」を開いた。実力伯仲の精鋭22人が出場。和気あいあいとした雰囲気の中にも、各自が優勝を目指し熱戦を展開した。結果、広瀬さん(新日電設(株))が見事栄冠を手にした。

開会式では、味園正道福祉委員長が「多数の参加をいただきありがとうございます」と挨拶。大会は、アウト・インに分かれてスタート。各

拓美庭苑が工事現場にミニ庭園

造園屋の気配りとこだわりを表現



街路緑化(植栽)工事(鳥追工区)で現場事務所所内ミニ庭園にミニ「庭園」を写真Ⅱを製作。近所の人の目を惹きつけている。「せっかくくもった造園工事。造園屋にしかできない仕事をしよう」と川畑一人現場代

手水鉢を配置。工事の目玉である山茶花(さざんか)、五色梅等を植え、金閣寺垣で囲んだ。ガードレールは竹の穂垣で隠した。

今回の主な工事は山茶花の新植・移植約180m。場所は新幹線の跨線橋で風が強く舞う。同じ面2段上下に胴縁を固定すると結び縄が切れた場合、道路や歩道に持つことができる心配がある。それで胴縁の横竹を幹の前後にくるよう2段互い違いにはわした。これなら切れても風で持っていかれることは

ない。また、移植の山茶花は葉が少ないのでスカスカの状態。横竹を段重ねすると段違いが目立ってしまう。それで竹径の大小を利用して突き通しにした。これなら横竹のライン180mが一気に並びきれいに見える。

施工計画書の表紙には自社施工の和室庭園のカラー写真を飾り、造園工事のアピールも忘れなかった。説明を聞いて知る細やかな気配りと工夫。造園工事のこだわりがそこにはあった。